社員の御家族様、取引先様にお届けします。
また、本通信は就労継続支援 B 型事業所 特定非営利活動法人アイ・コラボレーション様の協力で発行しています。
【経営理念】全従業員と社会のために、私たちの行動哲学をもとに一つとなり、すべての力を最大限に活かすこと。

エムズホールド通信 Vol.17

2020 年 6 月 27 日発行（毎月第三土曜日）
発行所：エムズホールド株式会社
〒525-0051 滋賀県草津市木川町 1595
TEL：077-574-8276
編集長：K.Konishi　ご意見: denwa@mshold.com
編集者：H.Iida　**日本語版** / インドネシア語版

嵐の中の次亜塩素酸水無料配布 ～魅せた漢気、応える仲間！～

(熱い想いを語る吉川賢一)

6 月 13 日(土)、弊社ヤード内で第 2 回次亜塩素酸水の無料配布を行った。第 1 回の無料配布と比べると順風満帆とはいかなかった。当初は弊社の事務所がある草津市木川町内での無料配布を予定していたが、5 月 29 日(金)にある新聞社から「**次亜塩素酸水の人体への効果と安全性に関してはまだ確認がされていない**」という趣旨の記事が発信され、消費者に混乱を招いた。次亜塩素酸水の良し悪しについて情報が錯綜する中、弊社でも製造メーカーである、イーエステクノロジー株式会社の担当者と会議を重ね、各関係者の方々の研究結果や論文から効果と安全性に関しての十分な資料を集めたものの、報道のインパクトには敵わず、木川町での無料配布は見送る形に。社内でも「**次亜塩素酸水について修正報道が出るまで様子を見た方が良いのでは**」と無料配布の延期案も出ていた中、Hanasaka リフォーム・吉川賢一の「**このまま引き下がると弊社が販売している次亜塩素酸水が悪いものなのかと誤解され、今まで取引のあったお客様にも混乱を招いてしまう。次亜塩素酸水が良いものであることは間違いないので、自信を持って配布したい**」という熱い気持ちの込められた一言が社員全員を奮い立たせた。社内で検討した結果、全員が吉川の漢気に賛同し、弊社のヤード内で無料配布を決行することになった。当日は大雨の中、事務所前で仮設事業部による決死の呼び込みが功を奏し、数名の近隣の方々が来社され、大成功に終わった。今回の無料配布に関して担当の吉川は「**当日まで色々ありましたが、無事に第 2 回の次亜塩素酸水無料配布を終えられてホッとしています。自分たちの"義"を通せたこと、そして会社全体が目標に向かってひとつになれたことがなによりの収穫だと思います。来社された木川町内の方々、そして大雨の中、ご協力頂いた従業員のみなさん、本当にありがとうございました。**」と感動しながら話した。次亜塩素酸水の無料配布の一番の目的は地域貢献にある。しかし、今回はその目的だけではなく、「もっと大切な何か」を得ることができた、実りの大きいイベントになった。

(前田社長、吉川賢一とゴミレンジャー)

無料配布、他社とは違う弊社独自の取り組み！

(追分南町の無料配布の様子と塩素試験紙)

上記の記事に続き、6 月 27 日(土)は追分南町で次亜塩素酸水の無料配布を行った。当日は追分南町内のたくさんの方々に来て頂き、こちらも大成功に終わった。弊社の無料配布では、他社様にはない独自の取り組みとして、特別な試験紙を用いて次亜塩素酸水の塩素濃度の測定を行っている。次亜塩素酸水は日を追うごとに濃度が低下し、効果が薄れていくからだ。ご自宅で使用されている、次亜塩素酸水の塩素濃度測定をご希望の方は、お電話か FAX でお気軽にご連絡ください。(無料で測定しに伺います)

[塩素濃度測定の申込書] ※下記を記入してこの用紙を FAX してください
TEL：077-574-8276　FAX：077-574-8228

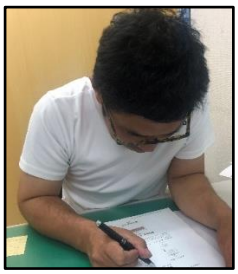
御社名		TEL	
		FAX	
		メール	
住所			
ご担当者			

MVP 発表！～日々の行いで勝ち取る信頼～

(左から前田社長、アジ、布施樹乃、吉川賢一)

6 月 13 日（土）フェリエ南草津 5 階の小会議室にて、月次決算報告会議の後、毎月恒例の MVP 発表を行った。前月と同様、新型コロナウイルスの集団感染を防ぐため、最大限の対策をしながら実施した。実習生からは、仕事のみならず全てにおいてレベルが高く、他の実習生のお手本となっている点を評価されたアジが。そして、日本人からは、実習生たちにわかりやすい言葉を使って仕事を教えたり、誰に対しても気さくに話しかけ、コミュニケーションを取ろうとする点が評価された、布施樹乃と、電話対応時のきちんとした姿勢や、上記の記事でも紹介させて頂いた通り、熱い一言で従業員たちを痺れさせた吉川賢一が選出された。次回の MVP は 7 月 18 日（土）に発表される。月次報告会議の後は、従業員たちが待ちに待った懇親会が「ワンカルビ草津店」で行われた。従業員たちが次々に肉をほおばる姿と、満腹になるまで食べ切った幸せそうな顔が、忘れられない。

見積書に異議あり！～有浦部長のリフォーム適正価格診断～


(提案書を作成する有浦部長)

連日降り続ける雨に蒸し暑い気温、そんな梅雨らしい天気の７月初旬に弊社宛に、ある１件の電話があった。Hanasaka リフォーム・有浦信一部長が対応すると、声の主は遠方に住む、知人のマンションオーナーをされている女性の方であった。要件を伺うと、「**外壁の塗替え時期なので、数社から外壁塗装の見積もりをもらっている。塗装の知識がないので、見積もりの価格が適当なのか見て欲しい**」とのことだった。有浦部長はこの依頼を快く引き受け、「**お客様に満足して頂けるように、弊社であればどのようなご提案ができるか**」と考え、遠方にもかかわらず実際に現地に足を運び、マンションの状態を確認しながら、数え切れないほどの写真を撮影し、他社様の見積書と比較しながら、弊社独自の提案書を作成し、気になる点にたくさんのメモを書いた付箋を貼り付け、寝る間も惜しんで価格を見直した。その結果、他社様の見積もりより約 300 万円程度の費用削減に成功した。依頼主の女性は有浦部長の仕事ぶりを非常に喜び、「**次回から家のことは全て有浦さんに依頼する**」と話すほど感動しきりだった。今回の件のように「人の想像を超える行動」は、相手を魅了し、ファンにさせる力がある。有浦部長にまた１人、大切なファンが増えたようだ。今回の件のようにお見積もりの段階で「外壁塗装やリフォーム全般の価格が適当なのか」不安な方々がおられましたら、適正価格を診断しますので、ぜひ一度 Hanasaka リフォームへお声掛けください。

管理部から喝！居は気を映す ～一流の企業を目指して～

(整理整頓がされていない事務所)

ある日の早朝、社員共有 LINE にて経営管理部・西原卯宏より「**仮設事業部の事務所があまりに汚い**」と喝が入った。恐る恐る送信された写真を見ると、「事務所の入り口のマットは埃だらけ、段ボールは以前からずっと整理されないまま置きっぱなし、そしてコピー紙も本来の場所に置かれていないという悲惨な状態だった。続けて西原から「**もし自分がお客様だったら、この会社を訪れたいと思うだろうか？自分のことばかりではなく、もっと気を遣って周りを見ること。事務所やトイレが汚い会社はいつまでも一流にはなれない。**」と厳しい指導が入った。弊社美化委員・小椋真里はこの LINE にすぐに反応し、自宅からすぐに駆けつけ、事務所内の整理整頓と清掃を行った。さらに、今後は、「**始業前と帰宅前に必ず清掃をする。そして最後に帰宅する人は空間洗浄噴霧器(J-BOY)へステリパワーの補充を行う**」と設定し、ルーティン化することによって今後同じことを繰り返さないことを誓った。西原の言い方は少々荒っぽかったかもしれないが、そこには「**エムズホールドを、そして従業員たちをもっと成長させたい**」という愛情が詰まっていた。弊社の従業員たちは仕事の技術はもちろん、このような人間性の部分でも一流を目指している。

(早朝から掃除をする小椋真里)

編集後記 ～受け継がれていくもの～

―「**留魂録は任せる**」ついにこの時が来た。毎回大好評であった経営管理部・西原卯宏による「親父の留魂録」を突然受け継ぐ形となった。とはいえ、心の準備は以前からしていたし、重荷に感じることはなく、むしろ「**やってやろう!**」と思うくらいだ。とはいえ、なかなか手が進まない。このエムズホールド株式会社に来てから３年目に突入する。人生の先輩方から色々なことを学んできたつもりだが、まだまだ人生の半分も経験していない若造が留魂録のようないわば人間学のようなものを説いていく立場にあるのか…。と自問自答をしていた。少し視点を変えてみる。「**誰にでも得手不得手がある。もちろん自分にも。裏を返せば、他の人が難しいと感じることを自分はできるかもしれない**」後ろを振り返りながらも、自分の色を前に出していこうと思った。

このエムズホールド通信 Vol.17 から、編集長には小西が就任し、主な編集を飯田ひかりが担当する。飯田のイラストの才能はピカイチで、本通信の背景画像や、裏面の四コマ漫画も手掛けている。これからはこの 2 人でとことん面白さを追求し、どなたでも思わず手にとって読んで頂けるような機関紙を目指し、精進していく。

外壁屋根塗装工事
仮設足場設置工事
各種リフォーム工事
TEL：077-574-8276
お家に関する
お悩み…
何でも
ご相談ください！
地域とともに エムズホールド株式会社

ステリパワーでみんなの
リスクをコントロール
http://mshold.com/steripower/

バックナンバーはこちらから→http://mshold.com/reform/newspaper/

本通信は「アリキタリはオモロナイ！」を合言葉に編集者の独断と偏見で制作しております。